

『夜空』 作：ポチ子

『夜空』 作：ポチ子

外は暗い暗い夜空。

それだけで安心した。

朝みたく、

太陽が爽やかさを押し付けてこないし、

昼みたく、

晴れやかな青空も広がってない。

夜は、

何かしなくちゃって、

変に焦る必要もないって言ってくれる。

その言葉に甘えて、私は眠るのだ。

気分がとっても良い。

ずっとこのままがいいけど、

夜空は気づけば消えてしまう。

どこに行ってしまうの？

ここにいてよ。

夜空は答えてくれない。

私はいつも、

手を伸ばしても届かない夜空を、

必死に引き留めようとしている。